

協働評価シート

事業名		使用済み天ぷら油は貴重な資源！！新居浜油田開発事業	実施年度	平成24年度
部 局		環境部	課 所	ごみ減量課
団体等の名称		エコバイオ株式会社		
評価項目			評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B
			市	B
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。（新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価）	団体等	A
			市	A
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A
			市	A
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A
			市	A

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>飲食店等から使用済み天ぷら油を回収し、ディーゼル車両の燃料を精製しているが、市との協働により、可燃ごみで処理されている「家庭から出る使用済み天ぷら油」を車両燃料にリサイクルし、公用車へ使用することによって、多くの市民の共感を得ることができ、今後の資源化につながるものになった。環境学習会においては子どもたちを中心に環境意識の向上に効果があった。</p>
<p>市</p>	<p>家庭から出る使用済み天ぷら油の利活用については、多くの油が回収でき、また、バイオディーゼル燃料を公用車へ使用するなど大きな成果を上げることができた。 公益に資する取り組みを企業と協働で進める場合の、それぞれの役割、協働の手法について整理する必要がある。</p>
<p>相互協議 結 果</p>	<p>市民から回収した使用済み天ぷら油から精製した、バイオディーゼル燃料を公用車に使用することにより、回収量が飛躍的に伸びた。ごみとして処分されるものが再利用されることに対する、市民の関心は高いため、今後は、回収拠点の拡大、バイオディーゼル燃料使用公用車拡大のため、企業と上手く連携・協働しながら取り組んで行く。</p>